

鬼金セミナー参加者 各位

2017年11月11日

JSPE マガジン編集部

JSPE マガジン 投稿依頼

JSPE マガジンでは、いこいの広場に「身近にエンジニアリング」という会員参加型のコーナーを設けております。

身近なものをエンジニアの視点で解説いただけませんか？

ご投稿頂いた方には PDH の一助となる Certificate を発行しております。

身近に感じたエンジニアリングをぜひご投稿ください。

8.2 身近にエンジニアリング

LED 電球の明るさはルクスだけではない JSPE Magazine Vol.37より

身の回りに増えている LED 電球（※2 参照）の選定にあたっては、従来の照明では考慮する必要の無かった要素についても検討しておいた方がよいことをよく聞く。ここでは、「どの程度明るく見えるのか」という LED 電球選定の最も基本的な事項について、ルクス (lux) だけで判断してはいけないという話題を紹介する。

つい5年ほど前は一箇 5 千円近くしていた LED 電球が、最近では 2 千円を切るようになり、家電量販店の棚のかなりのスペースを占めるようになった。永年使ってきた白熱電球や蛍光灯を、省電力、長寿命等良い事尽くしの LED 電球に取り替えた方も多いのではなからうか。

種類が右肩上がりである様々な LED 電球を巡る際、機械エンジニアである私は、「電球って、ルクス (lux 照度) とワット (消費電力) がそこそこあればそれでいいんだろう」程度の認識しか持っていなかった。しかし、最近購入した T 社製 LED 電球の紙製パッケージを眺めていてあることに気付いた。ここには、ルーメン (lm 全光束) や最大光度 (cd カンデラ) という言葉は載っているが、ルクス、照度という言葉はどこにも現れていない。ワットに関しては、「一般電球 XX W 形相当」ということが大書され、実際にこの電球が消費する電力値は小さく書かれている。



詳しくは以下メールまでご連絡ください。

public.2007@jspe.org

